

日本国特許庁  
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出願年月日

Date of Application:

2000年 6月19日

出願番号

Application Number:

特願2000-182358

出願人

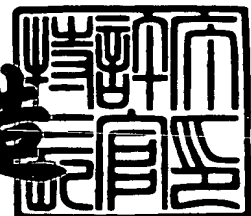
Applicant(s):

合資会社エイジナビ

2001年 8月 3日

特許庁長官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3068304

【書類名】 特許願  
【整理番号】 AX000005  
【あて先】 特許庁長官殿  
【国際特許分類】 G06F 17/60  
【発明者】

【住所又は居所】 広島県高田郡甲田町大字上小原 9 8 9 番地  
合資会社エイジナビ内

【氏名】 大杉 康弘

【特許出願人】

【住所又は居所】 広島県高田郡甲田町大字上小原 9 8 9 番地

【氏名又は名称】 合資会社エイジナビ

【特許出願人】

【住所又は居所】 愛媛県北宇和郡広見町大字国遠 1 3 6 3

【氏名又は名称】 薬師寺 国安

【特許出願人】

【住所又は居所】 愛媛県北宇和郡広見町大字国遠 1 3 6 3

【氏名又は名称】 薬師寺 聖子

【代理人】

【識別番号】 100110652

【弁理士】

【氏名又は名称】 塩野谷 英城

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 069454

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 回想データベースシステム及び回想支援プログラムを記録した媒体

【特許請求の範囲】

【請求項1】 ユーザの回想を促す質問文であって、属性を有する可変部を含んだ質問文雛型を予め記憶させた質問文雛型記憶手段と、

質問文をユーザに出力すると共に、該ユーザから質問文に対する回答を取得する通信手段と、

該質問文に対する回答を該回答の属性と共にデータベース化し記憶する回答記憶手段と、

前記質問文雛型記憶手段から質問文雛型を読み出すと共に、該質問文雛型の可変部と属性が一致する回答を前記回答記憶手段から読み出し、該読み出した回答を質問文雛型の属性が一致する可変部に当て嵌めて質問文を生成し、前記通信手段に出力する質問文生成手段と、

前記回答記憶手段でデータベース化された回答を、指定された形式に変換し出力する回答出力手段とを備えたことを特徴とする回想データベースシステム。

【請求項2】 前記属性は、XMLのタグに示され、前記回答記憶手段は、前記ユーザの回答をXMLファイルとしてデータベース化することを特徴とした請求項1記載の回想データベースシステム。

【請求項3】 請求項1記載の回想データベースシステムにおいて、

前記回答記憶手段に記憶された回答について前記ユーザから公開許否の指定を取得し、公開が許可された回答のみを前記回答出力手段に引き渡す回答出力制御手段を備えたことを特徴とする回想データベースシステム。

【請求項4】 前記回答出力制御手段は、前記回答の公開許否を当該回答に関連付けられた属性単位で制御することを特徴とした請求項3記載の回想データベースシステム。

【請求項5】 前記問題文生成手段は、前記回答記憶手段に記憶された回答のうちユーザの感情レベルを表す回答に応じて異なる問題文雛型を選択することを特徴とした請求項1記載の回想データベースシステム。

【請求項 6】 請求項 1 記載の回想データベースシステムにおいて、

前記回答に対応してユーザが選択した地図・写真又は音楽等のデータを当該回答の属性と関連付けて回答記憶手段に格納するマルチメディアリンク手段を備えたことを特徴とする回想データベースシステム。

【請求項 7】 質問文をユーザに出力すると共に、該ユーザから質問文に対する回答を取得する処理と、

該質問文に対する回答を該回答の属性と共にデータベース化し回答記憶手段に格納する処理と、

質問文雛型記憶手段から質問文雛型を読み出すと共に、該質問文雛型の可変部と属性が一致する回答を前記回答記憶手段から読み出し、該読み出した回答を質問文雛型の属性が一致する可変部に当て嵌めて質問文を生成し、前記通信手段に出力する処理とを、

コンピュータに実行させるための回想支援プログラムを記録した媒体。

【請求項 8】 請求項 1 記載の回想データベースシステムにおいて、

前記回答出力手段から出力された回答を取得した前記ユーザ以外の者から、当該回答又は当該回答の回答者に関するコメントを受信するコメント受信手段と、

該コメントを前記回答者と関連付けて記憶するコメント記憶手段とを備え、

前記回答出力手段は、前記回答に加え前記コメントを指定された形式に変換し出力する機能を備えたことを特徴とする回想データベースシステム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、回想データベースシステム及び回想支援プログラムを記録した媒体に係り、特に、個人の過去の記憶を引き出し、個人に現在まで影響を及ぼしている感情履歴を整理し、閲覧可能とすることで、引き出した記憶を第三者に利用可能とする回想データベースシステム及び回想支援プログラムを記録した媒体に関する。

【0002】

【従来の技術】

ストレス解消や痴呆症等の対策に、心のケアが重要になってきている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

しかし、心のケアを必要とする患者について、治療に当たる医師・介護者等が取得できる情報は、患者の現在の情報が中心である。例えば、その患者の現在の喫煙や飲酒の量、尊厳死の希望、ガン告知方法の希望等である。

【0004】

しかし、患者の心のケアには、現在までの患者の生き方、即ち過去を知ることが有力な手掛かりとなる。一方、医師・介護者等による短期間の診断だけでは、その患者の潜在的な過去の心の変遷を知ることが困難であり、患者毎に適切なりハビリ等を導入することが難しい。

【0005】

また、リハビリ方法として音楽治療や回想法等が提唱され、福祉施設等の単位で施行錯誤が始められているが、患者本人の個人データが整っておらず、患者担当者によって治療のレベルに差が出易い現状となっている。

【0006】

【発明の目的】

本発明は、かかる従来例の有する不都合を改善し、特に、個人の過去の心の変遷をデータベース化し、個人自身によるメンタルヘルス・痴呆予防等を行わせると共に、このデータベースを医師・介護者等が患者の治療に役立てることができるようになることを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】

この目的を達成するため、請求項1は、ユーザの回想を促す質問文であって、属性を有する可変部を含んだ質問文雛型を予め記憶させた質問文雛型記憶手段と、質問文をユーザに出力すると共に、該ユーザから質問文に対する回答を取得する通信手段とを備えている。また、該質問文に対する回答を該回答の属性と共にデータベース化し記憶する回答記憶手段と、質問文雛型記憶手段から質問文雛型を読み出すと共に、該質問文雛型の可変部と属性が一致する回答を回答記憶手段

から読み出し、該読み出した回答を質問文雛型の属性が一致する可変部に当て嵌めて質問文を生成し、通信手段に出力する質問文生成手段とを有する。更に、回答記憶手段でデータベース化された回答を、指定された形式に変換し出力する回答出力手段を備えた、という構成を採っている。

## 【0008】

前記属性は、XMLのタグに示され、回答記憶手段は、ユーザの回答をXMLファイルとしてデータベース化してもよい。

## 【0009】

また、請求項1記載の回想データベースシステムにおいて、回答記憶手段に記憶された回答についてユーザから公開許否の指定を取得し、公開が許可された回答のみを回答出力手段に引き渡す回答出力制御手段を備えてもよい。また、回答出力制御手段は、回答記憶手段に記憶された回答についてユーザから公開許否の指定を公開先毎に取得し、公開先からの要求に対し当該公開先向けに公開が許可された回答のみを回答出力手段に引き渡す機能を備えてもよい。

## 【0010】

この回答出力制御手段は、回答の公開許否を当該回答に関連付けられた属性単位で制御するようにしてもよい。

## 【0011】

また、前記問題文生成手段は、回答記憶手段に記憶された回答のうちユーザの感情レベルを表す回答に応じて異なる問題文雛型を選択するようにしてもよい。

## 【0012】

また、請求項1記載の回想データベースシステムにおいて、回答に対応してユーザが選択した地図・写真又は音楽等のデータを当該回答の属性と関連付けて回答記憶手段に格納するマルチメディアリンク手段を備えてもよい。

## 【0013】

また、請求項7は、質問文をユーザに出力すると共に、該ユーザから質問文に対する回答を取得する処理と、該質問文に対する回答を該回答の属性と共にデータベース化し回答記憶手段に格納する処理と、質問文雛型記憶手段から質問文雛型を読み出すと共に、該質問文雛型の可変部と属性が一致する回答を回答記憶手

段から読み出し、該読み出した回答を質問文雛型の属性が一致する可変部に当て嵌めて質問文を生成し、通信手段に出力する処理とをコンピュータに実行させるための回想支援プログラムを記録した媒体である。

【0014】

また、請求項8は、請求項1記載の回想データベースシステムにおいて、回答出力手段から出力された回答を取得したユーザ以外の者から、当該回答又は当該回答の回答者に関するコメントを受信するコメント受信手段と、該コメントを前記回答者と関連付けて記憶するコメント記憶手段とを備えている。そして、前記回答出力手段は、前記回答に加え前記コメントを指定された形式に変換し出力する機能を備えた、という構成を採っている。これにより、前述した目的を達成しようとするものである。

【0015】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の一実施形態を図面を参照しつつ説明する。図1は、本発明の回想データベースシステム100を含むシステム構成図である。インターネット等の通信ネットワーク200に対し、回想データベースシステム（夢21サイト）100、ユーザ端末300、出力先端末400、地図等外部関連サイト500が接続されている。

【0016】

このうち、回想データベースシステム100は、ユーザの回想を促す質問文であって、属性を有する可変部を含んだ質問文雛型を予め記憶させた質問文雛型記憶手段1と、質問文をユーザに出力すると共に、該ユーザから質問文に対する回答を取得する通信手段2とを備えている。また、該質問文に対する回答を該回答の属性と共にデータベース化し記憶する回答記憶手段3と、質問文雛型記憶手段1から質問文雛型を読み出すと共に、該質問文雛型の可変部と属性が一致する回答を回答記憶手段3から読み出し、該読み出した回答を質問文雛型の属性が一致する可変部に当て嵌めて質問文を生成し、通信手段2に出力する質問文生成手段4とを有する。更に、回答記憶手段3でデータベース化された回答を、指定された形式に変換し出力する回答出力手段5を備えている。

## 【0017】

本実施形態において、上記属性は、XML (eXtensible Markup Language) のタグに示され、回答記憶手段3は、ユーザの回答をXMLファイルとしてデータベース化している。

## 【0018】

また、符号6は、回答記憶手段3に記憶された回答についてユーザから公開許可の指定を取得し、公開が許可された回答のみを回答出力手段5に引き渡す回答出力制御手段である。この回答出力制御手段6は、回答の公開許可を当該回答に関連付けられた属性単位で制御するようになっている。

## 【0019】

また、問題文生成手段4は、回答記憶手段3に記憶された回答のうちユーザの感情レベルを表す回答に応じて異なる問題文雛型を選択するようになっている。

## 【0020】

また符号7は、回答に対応してユーザが選択した地図・写真又は音楽等のデータを当該回答の属性と関連付けて回答記憶手段3に格納するマルチメディアリンク手段である。

## 【0021】

また、回想データベースシステム100は、回答出力手段5から出力された回答を取得した出力先端末400から、当該回答又は当該回答の回答者に関するコメントを受信するコメント受信手段9と、該コメントを回答者（ユーザ）と関連付けて記憶するコメント記憶手段11とを備えている。そして、回答出力手段5は、ユーザの回答に加えコメント記憶手段11に格納されたコメントを指定された形式に変換し出力する機能を備えている。

## 【0022】

これを更に詳述すると、本実施形態において、質問文雛型記憶手段1、回答記憶手段3及びコメント記憶手段11は、HDD等の記憶手段8の記憶領域として設けられている。また、質問文生成手段4、回答出力手段5、回答出力制御手段6、マルチメディアリンク手段7及びコメント受信手段9は、制御手段10が回想支援プログラムを実行することによって実現されるプロセスである。この制御



手段10は、プログラム処理を実行するCPUを備えている。また、通信手段2は、通信ネットワーク接続用のモデムである。

【0023】

回想支援プログラムは、コンピュータ読取可能な媒体に記憶され、質問文をユーザに出力すると共に、該ユーザから質問文に対する回答を取得する処理と、該質問文に対する回答を該回答の属性と共にデータベース化し回答記憶手段3に格納する処理と、質問文雛型記憶手段1から質問文雛型を読み出すと共に、該質問文雛型の可変部と属性が一致する回答を回答記憶手段3から読み出し、該読み出した回答を質問文雛型の属性が一致する可変部に当て嵌めて質問文を生成し、通信手段2に出力する処理とをコンピュータに実行させる。

【0024】

また、通信ネットワーク200に接続されたユーザ端末300は、回想データベースシステム100を利用して自身の回想データベースを作成する者のパーソナルコンピュータシステム等である。出力先端末400は、回想データベースシステム100に作成された個人の回想データベースを利用する医師等のパーソナルコンピュータシステム等である。地図等外部サイト500は、インターネットのコンテンツサーバを備えたサーバ装置上に構築されている。

【0025】

次に、本実施形態の動作を図2乃至図6のフローチャートに基づいて説明する。

【0026】

本システムを利用するユーザは、ユーザ端末300からユーザ登録を行う。図2は、ユーザ登録処理のフローチャートである。ユーザは、ユーザ端末300から回想データベースシステム（夢21サイト）100にアクセスする（S1）。夢21サイト100は、ユーザ登録の案内をユーザ端末300に送信し表示させる（S2）。ユーザは、この案内を確認し、登録用データを夢21サイト100に送信する（S3）。夢21サイト100は、ユーザの登録処理を実行し、登録完了後、サービスメニューをユーザ端末300に送信し表示させる（S4）。ユーザがサービスメニューを選択すると（S5）、夢21サイト100は、選択さ

れたサービスのコンテンツ（フロントページ）をユーザ端末300に表示させる（S6，S7）。

【0027】

続いて、サービスの開始から終了までの流れを図3に基づいて説明する。登録済みユーザは、ユーザ端末300から夢21サイト100に対し自己の登録番号を入力する（S11）。夢21サイト100は、入力された登録番号に基づいて登録済みユーザか否かを認証し、登録済みユーザであれば、本人の登録済みデータとサービスを受けることができる有効期間とをユーザ端末300に送信し表示させる（S12）。会員別の有効期間は、記憶手段8に管理されている。続いて、ユーザは、受けたいサービスを選択し（S13）、夢21サイト100に入力する。夢21サイト100は、選択されたサービスの確認入力画面をユーザ端末300に送信し、表示させる（S14）。これに対し、ユーザは、選択したサービスが正しければ、サービスの開始を指示する（S15）。ユーザによりサービスの開始が指示されると、夢21サイト100は、質問文などのサービス提供データをユーザ端末300に送出する（S16，S18）。ユーザ端末300は、サービス提供データを受領し、表示する。ユーザは、質問文に対する回答などのデータの送信や、当該サービスの継続又は中断を夢21サイト100に対して指示することができる（S17，S19）。夢21サイト100は、ユーザ端末300から送信される回答などを受領し、記憶手段8に蓄積する。また、ユーザからサービスの中断を指示された場合は、当該ユーザ端末300へのサービスの提供を中断する（S20）。

【0028】

次に、夢21サイト100がユーザに提供するサービスの一つである、自分史作成サービスを説明する。図4は、自分史作成サービスのフローチャートである。

【0029】

ユーザが、自分史の新規作成サービスを選択すると（S21）、制御手段10は、作成カテゴリ及びテーマの一覧をユーザ端末300に送信し、新規テーマの選定を求める（S22）。ここで、自分史作成のカテゴリは、「家族」「仕事」

「学業」などである。カテゴリ及びテーマの詳細は、後述する実施例で紹介する。

#### 【0030】

ユーザが新規テーマを選択すると（S23）、制御手段10は、選択されたテーマを回答記憶手段3の該当ユーザのファイルに記録する。更に、制御手段10は、ユーザにそのテーマを選択した理由を問う（S24）。ユーザからテーマ選択理由が通知されると（S25）、制御手段10は、その理由を回答記憶手段3の該当ユーザのファイルに記録する。そして、質問文生成手段4により、ユーザが選択したテーマに沿った質問文（本実施形態ではページ単位で読み出す）を質問文雛型記憶手段1から読み出し、その1次質問をユーザ端末300に送信し、表示させる（S26）。

#### 【0031】

ユーザは、1次質問について、回答を選択し、又は回答を記入し、夢21サイト100に送信する（S27）。制御手段10は、ユーザから受信した回答に、その回答の属性を関連付け、回答記憶手段3の該当ユーザのファイルに記録する。その後、制御手段10は、2次質問、3次質問、・・・、N次質問（Nは正整数）と、質問文を変えながらユーザに質問を繰り返し、その回答及び対応する属性を回答記憶手段3に逐次記録していく（S28、S29、S30）。

#### 【0032】

この過程で、質問文生成手段4は、質問文雛型に属性付きの可変部が含まれている場合は、その属性に一致する回答を回答記憶手段3から読み出して可変部に当て嵌め、質問文を完成させてから、ユーザ端末300に送信する。例えば、事前の質問文でユーザに過去の「あだ名」を問い、その「あだ名」を属性<who>として登録しておく。そして、以降の質問文で属性<who>の可変部を持つ質問文があれば、その可変部に属性の一致する回答即ち上記の「あだ名」を当て嵌めて質問文を完成する。

#### 【0033】

質問の途中でユーザが中断を指示した場合（S31）、制御手段10は、中断理由候補の一覧をユーザ端末300に送信し表示させる（S32）。ユーザが中

断理由を一覧から選択すると、制御手段10は、その中断理由を回答記憶手段3の該当ユーザのファイルに記録し、質問を中断する（S34）。

#### 【0034】

一方、1テーマ分の質問を最後まで終了した場合は、図5の処理に移る。質問を最後まで終了すると、制御手段10は、質問の終了メッセージをユーザ端末300に送信し、表示させる。また、制御手段10は、サービス項目の一覧をユーザ端末300に送信し、表示させる（S41）。ユーザがサービス項目の中から自分史テーマレビューを選択すると、制御手段10は、回答記憶手段3の該当ユーザのファイルから今までの回答を読み出し、ユーザ端末300に送信し、表示させる（S41）。ユーザは、表示された今までの回答を変更することができる。回答に対する変更を終えたユーザは、変更後の回答を夢21サイト100に送信する（S44）。制御手段10は、変更後の回答を受付け、回答記憶手段3の該当ユーザのファイルに変更後の回答を記録する。このとき、変更前の回答はそのまま保持し、変更後の回答は、＜感情変化＞という属性に関連付けて回答記憶手段3に格納する（S45）。

#### 【0035】

次に、ユーザが自己の回答を外部の第三者に公開する方法について説明する。図6は、公開処理のフローチャートである。

#### 【0036】

ユーザは、予め定められた外部公開基準を選択し閲覧することができる。外部公開基準の閲覧を求められた制御手段10は、外部公開基準をユーザ端末300に送信し、表示させる。また、外部公開手順に沿った選択メニューをユーザ端末300に送信し、表示させる。ユーザは、外部公開手順の選択メニューの中から公開セグメントの選択を行うことができる。公開セグメントの選択とは、上述した質問に対する回答のうち、外部の第三者に公開を許可する部分を指定する操作である。公開を許可する部分は、回答の属性単位で行うことができる。ユーザは、質問に対する回答のうち、第三者への公開を許可する部分を当該回答の属性単位で選択し、夢21サイト100に送信する（S53）。ユーザから公開を許可する属性の選択を受け付けた制御手段10は（S54）、回答記憶手段3に格納

された該当ユーザのファイルから公開が許可された属性の回答だけを抽出し、抽出した回答を予め指定された情報公開用のフォーマット（カルテ形式、自分史出版形式など）に変換し、変換済みファイルをユーザ端末300に送信する（S55）。

【0037】

ユーザは、夢21サイト100から受信した変換済みファイルを閲覧し、公開内容に問題が無ければ、その変換済みファイルにデジタル署名を行い、夢21サイト100に送り返す（S56）。制御手段100は、デジタル署名の施された変換済みファイルを、外部の第三者（送信先端末400）がアクセス可能な記録領域に格納する（S57）。

【0038】

【実施例】

次に、上記実施形態に基づく詳細な実施例を紹介する。

【0039】

まず、上述した自分史作成のカテゴリ及びテーマとしては、以下のものを考えている。

【0040】

まず、カテゴリとしては、家族・仕事・学業・趣味・恋愛・友達・故郷・出来事などを考えている。

【0041】

また、各カテゴリに属するテーマとしては、以下を考えている。

【0042】

(1)カテゴリ「家族」に属するテーマ

ルーツから誕生まで＜生立ち＞

自我の芽生え

親からの自立

家族との別れ

兄弟・姉妹

子供

夫婦

家族の介護

【0043】

(2)カテゴリ「仕事」に属するテーマ

新入社員時代

新派遣社員時代

中堅社員時代

管理職時代

経営者時代

独立時代

中途退職

中途入社

定年退職

失業時代

パート時代

定年後の仕事

【0044】

(3)カテゴリ「学業」に属するテーマ

小学校時代

中学校時代

高校時代

大学・大学院・短大・専門学校時代

通信教育時代

生涯教育

【0045】

(4)カテゴリ「趣味」に属するテーマ

出会い

資格

【0046】

(5)カテゴリ「恋愛」に属するテーマ

初恋

哀愁

失恋

結婚

不倫

【0047】

(6)カテゴリ「友達」に属するテーマ

親友

喧嘩

別れ

【0048】

(7)カテゴリ「故郷」に属するテーマ

人

住居

歴史

【0049】

(8)カテゴリ「出来事」に属するテーマ

旅

離婚

病気

入院生活

事故

単身赴任

戦争

死別

倒産

表彰

その他

## 【0050】

次に、自分史作成手順において登場する質問文と、その回答の具体例を示す。以下、質問文は「Q」で、回答は「A」で示す。ユーザ端末300と回想データベースシステム100との間の質問文及び回答の送受信は、ページ単位で行われるものとする。{×××}との記載は、回答記憶手段3から選択した回答を属性の一致する質問文雛型の可変部に当て嵌めた部分を示す。<×××>との記載は、回答の属性（XMLタグ）を示す。（×××）との記載は、ユーザが記入した回答を意味する。

## 【0051】

また、質問文の流れは、単一のテーマにおいて4種類のパターンがある。パターンの選択は、以前の回答から特定されるユーザの感情レベルに基づいて行われる。ここで、感情レベルとは、あるテーマに対してユーザが抱いている感情が、良い感情（良い印象）であるか、悪い感情（好ましくない印象）であるかという程度を意味する。ユーザが選択したテーマについて良い感情を持っている場合は、後述するG1又はG2パターンの質問文を採用する。一方、ユーザが選択したテーマについて悪い感情を持っている場合は、B1又はB2パターンの質問文を採用する。また、共通の質問パターンは、<<××>>との記載で表す。ユーザが回答を選択する質問においては、選択した回答を■で表す。また、ユーザが回答を記述する質問においては、記述した回答を（ ）内に示す。以下に示す手順は制御手段10のプログラム処理によって実現され、また、ユーザの回答は回答記憶手段3に記録される。

## 【0052】

以下のサンプルは、ユーザがカテゴリとして<仕事>を選択し、その中のテーマとして<新入社員時代>を選択した場合である。このテーマの選定により、（1）<入社した>、（2）<研修した>、（3）<働いた>の3つの属性が自動作成される。以下の説明では、これら3つの属性を括弧書きの数字によって略述する。

## 【0053】

<<共通の質問パターン>>



【0054】

注) 最初は共通の質問パターンから始まる。ユーザ端末300の画面には、「インタビュー登録」ボタン・「やり直し」ボタン・「登録済み内容確認」ボタン・「各質問に後で答えたい」ボタン、が表示される。「後で答えたい」ボタンが3以上の質問画面に対し連続で操作された場合、制御手段10は、ユーザ端末300に警告を表示させる(警告の内容は、例えば、「時間をおいてインタビューしましょう」、「テーマ選択をキャンセルしましょうか」等。精神面に悪影響を及ぼす可能性を警告する。)

【0055】

[Q1/A1]

【0056】

(1)あなたが選んだ{新入社員時代}はあなたのことですね?

選択 ☒ はい ☐ いいえ

【0057】

注) ここで、回答が「はい」の場合、属性(1)(2)(3)に、それぞれ属性を<who>として回答を登録する。「いいえ」が選択された場合はカテゴリーを「家族」に変更するメッセージを表示する。

【0058】

[Q2/A2]

【0059】

(1)あなたの思い出の中にある{あなた}の新入社員時代は今の自分にとってどんなイメージに見えてきますか?

☐ 暗い ☐ 灰色 ☐ つらい ☒ 懐かしい ☐ バラ色 ☐ まぶしい

【0060】

注) この回答は、属性<再生記録><社会的要求>に記録する。左側3つの回答が選択されるか又は右側3つの回答が選択されるかにより、以降の質問文のパターンを選択すると共に、次の画面からユーザ端末に表示する画面の背景色及び文字色を変更する。背景色はカテゴリー別にも異ならせる。例えば、今回の回答では淡いセピア色の背景色で文字色は黒に設定する。

【0061】

(2)その時代あなたは親しい人に、どんな呼び名で呼ばれてましたか？たとえば〇〇さん、〇〇ちゃん、〇〇くん、〇〇等あなたの当時の思い出を振りかえるために今後の問いかけに使いたいのです。思い出してみてください。

【0062】

当時の呼ばれ方は（ ●●君 ） だったと思う。

【0063】

注）今後の問いかけ名を決定し、データを所定の属性と関連付けて回答記憶手段3に記録する。この情報は、テーマキャンセルボタン又は次ページ以降に登場する呼びかけ変更ボタンによって変更されない限り保持される。

【0064】

(3)当時の呼ばれかたをこれからの問いかけに使ってのいいですか？

■はい □いいえ [あなたで呼びかけます]

ではこれからいくつか聞かせてもらいますのでリラックスして私に教えて下さい。

【0065】

注）以降のQ&AページにはQ&A以外に、(1)呼びかけ変更ボタン、(2)インタビュー中断ボタン [このボタンが押された場合、一時中断のためデータを保存するか、又はテーマ自体をキャンセルして全データを破棄するか、の選択画面を表示させる]、(3)画像・地図・音楽・動画データ保存ボタン、(4)バックミュージック開始・停止ボタン、(5)ヘルプ、の5コのボタンが追加表示されている [前述した3コのボタンを含め、合計8コのボタンとなる]。

【0066】

<<G1, G2>>共通

【0067】

{ ●●君 } の人生にとって大変重要な社会人への旅立ちの時代を入社までの経過と入社後の体験を中心に聞かせてください。目を閉じて深呼吸して今の自分を忘れ、一時昔の自分に帰って見てください。

【0068】

[Q3/A3]

【0069】

(1) {●●君}の記憶にある<懐かしい>新入社員時代はいくつの時ですか？  
私が(23)才の時の事です。

【0070】

注)回答は各属性(1)(2)(3)の下に属性<when>として登録する。

【0071】

(2) {●●君}は入社にあたり今まで住んでいた場所が変わりましたか？  
■はい 入社前の場所は( 東京 ) □いいえ

【0072】

注)回答は属性(1)の下に属性<Where>として登録する。

【0073】

(3) {●●君}が入社した会社の名前と働き始めた場所を教えてください  
会社名は( ▲▲▲株式会社 )で場所は(長野)でした。  
ここで昔を思い出す為に入社前後の住所や会社の場所を地図ボタンをクリックして探して見てください。見つかったら名前をつけて保存しておいて下さい。

【0074】

注)地図ボタンは地図サイト500のWebコンテンツへリンクさせ、地図を検索し対象画像を名前をつけて保存させるか、又はURLで保存させる。回答「▲▲▲株式会社」「長野」は属性(1)の下に属性<Where>として登録する。また、マルチメディアリンク手段7は、地図画像の格納アドレス又は地図画像のURLを、各属性(1)(2)(3)の下に属性<再認記録><地図>として登録する。

【0075】

[Q4/A4]

【0076】

(1) { 君 } は {▲▲▲株式会社} が第一志望でしたか？  
□はい ■いいえ

【0077】

注) 回答は属性(1)の下に属性<Why>として登録する。

【0078】

(2) {長野}にある{▲▲▲株式会社}に入ろうとしたきっかけは何だったのでしょうか?

☐なんとなく自分に合う感じがした    ☒自分のやりたい事ができそうと感じた

☐先生の薦め    ☐親族の薦め    ☐世間の評判が良かった    ☐将来性がありそう

☐先輩の薦め    ☐会社の場所が良かった    ☐先輩や知人がいた

☒その他(会社更生法適用会社で面白そうだった    )

【0079】

注) 回答は属性(1)の下に属性<Why>として登録する。

【0080】

(3) {長野}にある{▲▲▲株式会社}はどんな会社だったのですか?たとえば、従業員数とか代表的な取り扱い品目、売上規模、顧客、本社工場等覚えている範囲で教えて下さい。

{▲▲▲株式会社}とは(本社は東京の\*\*区\*\*にあり、従業員は約\*\*\*人、発電機、交換機、大小モーター等製造し\*\*\*向けに販売している会社でした。工場は長野県\*\*\*にありました。売上規模は入社時\*\*億程度だったとおもいます)

【0081】

注) 回答は属性(1)の下に属性<Where>として登録する。

【0082】

(4) {▲▲▲株式会社}の入社試験を受けるにあたり{●●君}はどんな事をしましたか、たとえば会社訪問とか資料集めとか苦労したことはなかったですか? また入社試験時の印象に残っていること、たとえば意地悪な質問に戸惑った、いつもの自分でないような回答をした等があれば教えて下さい。

{▲▲▲株式会社}の入社試験を受けるにあたり(会社訪問は1回だけでした。この時の記憶として会社の現状を聞くよりも、なぜ会社更生法になったのかを当時の総務課長に聞いた記憶があります。放漫経営だった等のコメントでした。面

接はたしか3人だったと思いますが、入社希望理由にも会社更生法適用会社で面白そうだ、自分のやりたい事ができそうだと正直に答えた記憶があります。)

【0083】

注) 回答は属性(1)の下に属性<How>として登録する。

【0084】

[Q5・A5]

【0085】

(1) 当時自分の思い出になる写真、ビデオ、レコード等が今でもありますか？

■ある(卒業時の写真)    □特に思い出せない

{●●君}の今回のテーマの資料として後でデジタル登録しますか？

■はい [■写真   □ビデオ   □音楽   □その他]    □いいえ

【0086】

注) マルチメディアリンク手段7は、写真データの格納アドレスを、属性(1)の下に属性<再認記憶><写真>として、未登録事項として登録する。

【0087】

(2) {●●君}が{▲▲▲株式会社}に入社する時代はどんな時代だったとおもいますか？この時代でのトピックスを参照し自分が印象あるものを選んでください。興味ある事項はリンクページも参考にしてみてください。当時の時代年表ボタンを押して印象にあった事項を選択してみてください

【0088】

注) ユーザ端末300に時代年表画面を表示させ、ユーザに年表中の項目を選択させる。選択された項目を各属性(1)(2)(3)の下に属性<感情背景><社会的背景>として登録する。

【0089】

[Q6/Q6]

【0090】

(1) 選定された事項は { ●●君 } の当時の自分の考え方にどのように影響していたと思いますか？

( )

【0091】

注) ここで、先の質問でユーザが選択した年表中の項目に関する情報は、そのままユーザ端末300の画面に表示させておく。回答は属性<感情背景><社会的背景>として登録する。

【0092】

(2) 当時、{ ●●君 } が熱中していた事、趣味等はなんですか？

( )

【0093】

注) 回答は属性<自己要求><実現要求>として登録する。

【0094】

(3) 当時、{ ●●君 } は社会人とならず学生生活を継続するか、趣味にいきる経済的余裕はなかったのですか？

■ なかった (継続できなかったのは )

□ あった (継続しなかったのは )

【0095】

注) 回答は属性<感情背景><経済的理由>として登録する。

【0096】

(4) 当時 { ●●君 } は恋愛感情にあった人がいましたか？その人に { 会社入社することを、どのように伝えようと思いましたか。又どのような行動したか思い出してみてください。

( )

【0097】

注) 回答は属性 (1) の下に属性<感情背景><対人関係>として登録する。

【0098】

(5) 当時 { ●●君 } の家族やまわりの人たとえば友だち、先輩、先生等は { 長野 } の { ▲▲▲株式会社 } に入社にあたり、なんて言っていましたか、、、、

( )

【0099】

注) 回答は属性 (1) の下に属性<感情背景><対人関係>として登録する。

【0100】

(6)当時の自分を振り返り気持ちの中で特にこだわっていた事があれば教えて下さい、

□特に思い出せない

■当時の自分のこだわりは気持ちは ( )

【0101】

注) 回答は属性(1)(2)の下に属性<感情背景><その他>として登録する。

【0102】

[Q7/Q7]

(1) 入社前の{●●君}は自分なりに何かを実現したいと思っていましたか？  
たとえば、{▲▲▲株式会社}に入社したら新製品をドンドン販売するんだ、今まで勉強してきたことや学生時代ではできなかった事を実行してみるんだ等。新しい環境での自分がどうありたいかです。

( )

【0103】

注) 回答は、属性(1)の下に属性<自己要求><実現要求>として登録する。

【0104】

(2)入社前の{●●君}は環境変化が予想される事で、どんな心配ごとを思っていましたか？たとえば新たな年上の人とうまくやっていけるのかな、新たな仕事が自分に合っていなかったらどうしようか等です。

( )

【0105】

注) 回答は、属性(1)の下に属性<自己要求><逃避要求>として登録する。

【0106】

(3)この時代{●●君}の夢は何だったのでしょうか？自分の将来の目標・希望等仕事にとらわれることなく、目を閉じて振り返ってみてください。

私の当時の夢は（ ）

【0107】

注）回答は各属性（1）（2）（3）の下に属性＜自己要求＞＜目標要求＞として登録する。

【0108】

（4）{●●君}の夢に対して、{▲▲▲株式会社}へ入社したことはどんな気持ちの位置づけにあったのでしょうか？

■当時の夢にたいして第1歩を踏み出せたと思う。

□当時の夢にたいして、特に障害となるとは思えなかった。

□当時の夢にたいして、難しい壁と遭遇したような気がした。

□当時の夢にたいして、取り返しができそうにない状態になった気がした。

【0109】

注）回答は属性（1）の下に属性＜自己要求＞＜目標要求＞として登録する。満足度を登録する。例えば、回答の1番目を選んだら満足、2番目は安心、3番目は怒り、4番目は苦悩として登録する。

【0110】

（5）社会人の登竜門的時期を多感に過ごしてきた過去の自分を、現在の自分から見てどう思われますか？

■それなりによく頑張っていた、この時代の自分が今の自分のペースとなっている

□今の自分が忘れていた、見えないものに対して向かうことのできる勇気と希望を思い出させてくれる

□まだ世間の事を何も知らない過去の自分がなにか可愛そう

□もし過去の自分をやり直せたら、もっと違った現在の自分があったかも知れない

【0111】

注）回答は、属性（1）の下に属性＜再生記録＞＜内部要因＞＜社会的要求＞＜愛情＞として登録する。例えば、回答の1番目は愛情、2番目は嫉妬、3番目は羞恥、4番目は憎しみと感情レベルに変換して登録する。上2個を選択した場



合はG1パターンの質問文に進み、下2個を選択した場合はG2パターンの質問文に進む。

【0112】

<<G1パターンの質問>>

【0113】

[Q8/A8]

【0114】

ではこれから{●●君}が{▲▲▲株式会社}に入社後の事を聞かせてください。入社前の事は忘れ、目を閉じて入社時の自分を思い出してください

【0115】

(1)入社式で印象に残っている事がありますか？たとえば社長の言葉とか、自分が式場で新たな友だちができた等。。。

□ある（ ）

■特に覚えてない

【0116】

注)回答は属性(2)(3)の下に属性<感情背景><対人関係>として登録する。

【0117】

(2)会社は研修期間または試用期間をどれくらいあたえてくれたか覚えてますか？

{▲▲▲株式会社}が新入社員のために約( 180 )日間用意してくれていた。

【0118】

注)回答は属性(2)の下に属性<Why>として登録する。

【0119】

(3)それはどこでおこなわれましたか？たとえば、会社の同一部門内とかいろんな部門、または特別な研修センターとか外部の会社等あると思いますが、思い出せる範囲で振返ってください。

その研修は( 工場内の各部門や小さな研修場 )で行われた。

【0120】

注) 回答は属性(2)の下に属性<Where>として登録する。

【0121】

(4) {●●君}の今日の仕事のやり方に少なからず影響したと、思われる研修・試用期間を{●●君}はどのように過ごし、どんな事を考えてたのでしょうか?たとえば、たんなる知識の吸収だけでなく教官的な人の仕事への取り組み方を学んだ、同時入社者の考えや経験に刺激された、自分がこの会社でやりたいと思う事が見つかった、新しい事を自分なりに吸収するのに苦労したがなんとかのりきった等や新たな友達ができた事など{●●君}の思いでにある事を教えて下さい。

私はこの研修・試用期間において( )

【0122】

注) 回答は属性(2)の下に属性<How>として登録する。

【0123】

[Q9/A9]

【0124】

(1) {●●君}は{▲▲▲株式会社}の入社前に抱いていた、会社生活で実現してみたかったことには研修・試用期間を経て徐々に見えてきましたか?

■はい

□いいえ、なぜなら( )

【0125】

注) 回答は、属性(1)の下に属性<自己要求><実現要求><希望>として登録する。

【0126】

(2) {●●君}は入社前に抱いていた不安なことはこの研修期間で徐々に解消していききましたか?

■はい

□いいえ、なぜなら( )

【0127】

注) 回答は、属性(1)の下に、属性<自己要求><逃避要求><安心>として登録する。

【0 1 2 8】

(3) {▲▲▲株式会社}の研修・試用期間の思い出になる写真、ビデオ、レコード等が今でもありますか？

☐ある（卒業時の写真） ☒特に思い出せない

{●●君} の今回のテーマの資料として後でデジタル登録しますか？

☐ はい ☐ 写真 ☐ ビデオ ☐ 音楽 ☐ その他 ☒ いいえ

【0 1 2 9】

注) 回答は、属性(2)の下に属性<再認記憶><なし>として登録

【0 1 3 0】

[Q 10 / A 10]

【 0 1 3 1 】

(1) {▲▲▲株式会社}の研修・試用期間に{●●君}は新たな人との出会いがあったわけですが、みんなは{●●君}のことをどうやってましたか？たとえば、まじめなそうだ、心配性だ、楽天主等教えてください。

当時の私はまわりのみんなから（ ）だと言われていた

【 0 1 3 2 】

注) 回答は、属性(2)の下に属性<感情背景><対人関係>として登録する

【0 1 3 3】

(2) その当時、新たな友達や恋愛感情をもった人等が現れましたか？その人たちはあなたにどんな影響をおよぼしたと思いますか、今でも付き合いがありますか？

■はい

{▲▲▲株式会社}の研修・試用期間中に（ ）

☐ いいえ

【0 1 3 4】

注) 回答は、属性(2)の下に属性<感情背景><対人関係>として登録する。

【0135】

(3) {▲▲▲株式会社}の研修・試用期間に{●●君}は入社前には考えていなかった新たに自分なりに何かを実現したいと思いがでてきませんでしたか?たとえば、この会社に不足していると思われる事務処理のスピード化を自分なりに改善提案していきたい等

( )

【0136】

注) 回答は属性(2)の下に<自己要求><実現要求>として登録する。

【0137】

(4) {▲▲▲株式会社}の研修・試用期間に{●●君}は入社前には考えていなかった新たな心配ごとが出てきませんでしたか?たとえばあまり気乗りしない部門への配属等

( )

【0138】

注) 回答は、属性(2)の下に<自己要求><逃避要求>として登録する。

【0139】

(5) {●●君}の当時の夢にたいして、{▲▲▲株式会社}での研修・試用期間を過ごして、どのように思うようになりましたか?

■当時の夢にたいして、より第1歩を踏み出せたと思うようになった。

□当時の夢にたいして、あまり障害となるとは思えなかった。

□当時の夢にたいして、より難しい壁と遭遇したような気がした。

□当時の夢にたいして、より取り返しができそうにない状態になった気がした。

【0140】

注) 回答は属性(2)の下に属性<自己要求><目標要求>として満足度を登録する。

【0141】

[Q11/A11]

【0142】

ではこれから { 君 } が { ▲▲▲株式会社 } に研修・試用期間後の事を聞かせてください。約 { 180 } 日間の研修・試用期間の事は忘れ、 { ●●君 } が正式な会社の戦力として認められ、働きだした時の自分を思い出してください。

【0143】

(1) どこに配属されましたか?、その部門は具体的にどんな仕事を中心の部門でしたか?、会社にとって主力の部門でしたか?

私は { ▲▲▲株式会社 } の ( )

【0144】

注) 回答は属性 (3) の下に属性 < Where > として登録する。

【0145】

(2) 会社は { ●●君 } をこの部署に配属するにあたってどんなことを期待していたと思いますか? たとえば、本人の希望もあるしこの部門が今、必要としているタイプの人間に近い等、想像で結構ですので教えてください。

私が { ▲▲▲株式会社 } で最初に配属された理由は ( ) ではなかったか  
と思える。

【0146】

注) 回答は、属性 (3) の下に属性 < Why > として登録する。

【0147】

(3) { ●●君 } が配属された部門の雰囲気はどう感じました? { ●●君 } は部門のメンバーに当初どう思われていたと思います? 直属の上司は最初の印象とその後の印象では違ってきましたか? 印象に残る先輩の言葉等覚えていれば教えてください。

( )

【0148】

注) 回答は、属性 (3) の下に属性 < 感情背景 > < 対人関係 > として登録する。

【0149】

(4) { 君 } が新しい部署で働くようになり、新たな友達や恋愛対象の人が

現れた等会ったら教えて下さい。

( )

【0150】

注) 回答は、属性(3)の下に属性<感情背景><対人関係>として登録する。

【0151】

(5) {●●君} が配属され、具体的仕事につき自分なりに苦勞しながらガンバ  
ツタと思いますが、どんな失敗やどんなエピソードを覚えてますか？そこから学  
んだ事、自分として自信をもてたキッカケ等教えてください。

( )

【0152】

注) 回答は属性(3)の下に属性<How>として登録する。

【0153】

[Q12/A12]

【0154】

(1) {●●君} は {▲▲▲株式会社} の入社前に抱いていた、会社生活で実現  
してみたかったことには正社員で働いて徐々に実現化できましたか？

■はい

□いいえ、なぜなら( )

【0155】

注) 回答は、属性(1)の下に属性<自己要求><実現要求><希望>として  
登録する。

【0156】

(2) {▲▲▲株式会社} の研修・試用期間に {●●君} は入社前には考えてい  
なかった新たに自分なりに何かを実現したいことは新入社員時代徐々に具体化で  
きましたか？

□はい

■いいえ、なぜなら( )

【0157】

注) 回答は、属性(1)の下に属性<自己要求><実現要求><希望>として登録する。

【0158】

(3) {●●君}がこの時代、入社前とは違った新たな気持ちのこだわり等でてきましたか？

☐ はい

正社員として働きだしてこだわりだしたことは( )

☒ いいえ

【0159】

注) 回答は、属性(3)の下に属性<感情背景><その他>として登録する。

【0160】

[Q13/A13]

【0161】

(1) {●●君}は入社前に抱いていた不安なことはこの時期に解消してましたか？

☒ はい

☐ いいえ、なぜなら( )

【0162】

注) 回答は属性(1)の下に属性<自己要求><逃避要求><安心>として登録する。

【0163】

(2) {▲▲▲株式会社}の研修・試用期間に{●●君}は入社前には考えていなかった新たな心配ごとについては徐々に解消していききましたか？

☒ はい

☐ いいえ、なぜなら( )

【0164】

注) 回答は属性(1)の下に属性<自己要求><逃避要求><安心>として登録する。

【0165】

(3) {▲▲▲株式会社}の新正社員時代の思い出になる写真、ビデオ、レコード等が今でもありますか？

■ある(××の写真) □特に思い出せない

{●●君}の今回のテーマの資料として後でデジタル登録しますか？

■はい [■写真 □ビデオ □音楽 □その他] □いいえ

【0166】

注) 属性(3)の下に属性<再認記憶><写真>として事後登録の旨を登録する。

【0167】

[Q14/A14] ここで、ユーザ端末300の画面に「自分へのメッセージ」ボタンを追加する。

【0168】

(1) {●●君}の当時の夢にたいして、{▲▲▲株式会社}での新入社員時代を過ごして、どのように思うようになりましたか？

■当時の夢にたいして、より具体的に踏み出せたと思うようになった。

□当時の夢にたいして、まったく障害となるとは思えなくなった。

□当時の夢にたいして、より難しい壁と遭遇したような気がした。

□当時の夢にたいして、まったく取り返しができそうにない状態になった気がした。

【0169】

注) 回答は、属性(3)の下に属性<自己要求><目標要求>として満足度を登録する。

【0170】

(2) 社会人の登竜門的時期を幾つもの困難と失望と希望をくりかえし過ごしてきた過去の自分を、現在の自分から見てどう思われますか？

■それなりによく頑張っていた、この時代の自分が今の自分のベースとなっている

□今の自分が忘れていた、見えないものに対して向かうことのできる勇気と希望を思い出させてくれる



□まだ世間の事を何も知らない過去の自分がなにか可愛そう

□もし過去の自分をやり直せたら、もっと違った現在の自分があったかも知れない

【0171】

注) 回答は、属性(3)の下に属性<再生記録><内部要因><社会的要求><愛情>として登録する。

【0172】

以上で{●●君}の{新入社員時代}のインタビューを終えます。お疲れさまでした。最後に今回のインタビューの題名を記入して下さい。例えば新たな旅立ち編等と登録し、しばらくしてもう一度読み返して見てください。読み返して訂正しても結構です。すべて終わったらメッセージボタンを押して現在の自分から過去の自分へメッセージを送ってみてください。そして過去の自分から未来の自分へメッセージを送ってみてください。インタビューは何回でも繰り返しこれから行うことができます。時間をおいてまたこのテーマでインタビューを受けてください。今回のインタビューは{●●君}が消さない限りいつまでもまたいつでも見ることができます。インタビューを繰り返すことで変わっていく自分を発見できるかもしれません。夢21はいつでも{●●君}を見守っています。(サンプル終了)

【0173】

以上説明した本実施形態及び実施例によれば、質問文生成手段が、質問文雛型の可変部に属性の一致する以前の回答を当て嵌めて質問文を完成しユーザ端末300に表示するので、質問を受けるユーザは実際に過去に呼ばれていた呼び名で呼びかけられることによりリラックスできたり、自分が過去に経験した具体的なシチュエーションを盛り込んだ質問文により過去のシチュエーションのイメージが容易になったりするので、過去の回想の促進が期待できる。

【0174】

また、ユーザの回想による感情の変遷などをデータベース化し、第三者に利用可能とするので、医師・介護者等は患者の心のケアを行うにあたり、その患者の過去を整理された情報として容易に入手できるようになるので、従来よりも適切

なりハビリテーションを容易に行うことができる。

また、個人の頭の中で整理できなかった複雑な感情履歴をよりロジカルな形で認識できるため、個人の心の中で蓄積している各種こだわり等を自分自身で整理できより自分自身を再認識できストレス開放、痴呆防止等が期待できる。

【0175】

また、ユーザの回想による回答は、XMLファイルにデータベース化するので、XMLタグを指定することにより特定の属性を持つ回答の抽出が容易であり、また、事後的にカルテや自分史出版用のフォームに編集することを容易に行うことができる。

【0176】

また、回答出力制御手段が、ユーザが許可した回答だけを外部に公開するので、ユーザの意思が尊重され、またユーザのプライバシーが守られる。公開の許否は、回答の属性単位で細かく設定できるので、情報公開に対するユーザの意思を精密に反映することができる。

【0177】

また、質問文生成手段は、ユーザの回答からユーザの感情レベルを判定し、該感情レベルに応じて以降の質問パターンを変更するので、ユーザの感情に沿った適切な質問を行うことができ、ユーザの感情に悪影響を与えないように回想を促進させることが可能である。

【0178】

また、マルチメディアリンク手段が、ユーザの回答に関する地図、写真、音楽などのデータを該ユーザの回答に関連付けるので、データベースを利用する医師等は、それらの情報をユーザの介護に活用することができ、患者の心のケアに有効に活用することが可能となる。

【0179】

また、患者と担当医者・介護者等が通信網を介したエクストラネットを構築することも可能となるため、担当医者・介護者等が該当患者に行った治療カルテの各種電子フォーマットを容易に患者個人のデータベースに転送できるようになり、患者は夢21サイトを通して随時自分自身に関する各種治療データ等を容易に

入手・確認することが可能となる。また、患者と医師・介護等でむすばれたエクストラネットにより、相互のデータ公開がタイムリーにおこなうことが可能となるため、患者に対するインホームド・コンセント等を促進でき医師・介護等のサポート費用を大きく改善することが可能となる。

#### 【0180】

ここで、本発明は上記実施形態及び実施例に限定されない。回想支援プログラムをユーザ端末にインストールし、ユーザ端末のスタンドアロン構成でユーザの回答を収集することも可能である。また、ユーザ端末300からユーザへの質問文の出力及びユーザからユーザ端末への回答の入力を音声で行うようにしてもよい。この場合、ユーザ端末300のユーザインタフェースに音声テキスト変換ソフトウェアを導入する。

#### 【0181】

次に、図1並びに図7乃至図10に基づいて上記実施例を更に補足する。

#### 【0182】

ユーザは、夢21サイト100に対し、予め会員登録を行う(S100)。会員登録に際しては、生年月日等を入力する。この入力情報は、記憶手段8の会員情報データベース101に登録される。

#### 【0183】

その後、ユーザは、夢21サイト100を訪問し、質問に対する回答の入力を開始する。最初に質問及び回答のカテゴリ及びテーマを選択する。

#### 【0184】

記憶手段8には、質問・回答データベース102aが格納されている。このデータベース102aには、質問テーマに応じた質問文及び回答を記録するXMLファイルが便宜上3つのファイルに分散されて格納されている。このXMLファイルは、階層化されたXMLタグのついた質問文および、同じくXMLタグの付いた回答を一組として記述している。以下、このファイルを質問・回答標準化ファイルという。このXMLファイルに記載された質問文の可変部や回答の入力欄は、ユーザが入力した内容に置き換えられ、当該XMLファイルが随時更新されるようになっている。従って、一つのXMLファイルの中に、質問文雛型記憶手

段1と、回答記憶手段3とが共存するファイル構成をとっている。

【0185】

制御手段10は、この質問・回答データベース102aから質問文を順に選択してユーザに送信し、その質問に対する回答をユーザから受信し、受信した回答を質問・回答データベース102a（XMLファイル）に更新する。この更新処理では、ユーザから受信した回答に基づいて以降の質問文の可変部が確定し、以降の質問文が生成される。これによると、ユーザの回答内容が以降の質問文に反映されるので、ユーザに問い返す効果が得られ、ユーザの回想を促したり、ユーザの緊張を解したり、という効果が得られる（S102）。

【0186】

また、制御手段10は、ユーザが選択した質問テーマに応じた年代の年表を年表データベース104から抽出する。質問テーマの年代を算定する際、制御手段10は、会員情報データベース101に登録されている該当ユーザの生年月日を参照し、この生年月日を基準に質問テーマに応じた年代を算定する（S103、S104）。例えば、ユーザの生年月日が1969年であり、選択したテーマが新入社員時代の場合は、当該ユーザが23歳くらいである1992年頃の年表を抽出する。抽出した年表は、ユーザへの質問に応じてユーザが参照閲覧できるようになっている。制御手段10は、抽出した年表データを質問・回答データベース102aの該当ユーザのファイルに登録する。

【0187】

また、制御手段10は、質問の過程において、CSSファイル及び音ファイルのデータベース103からユーザの回答に応じたデータを読み出し、回答に表されたユーザの感情に応じて、ユーザ端末に表示する表示画面のデザインやユーザ端末に再生させるBGMを変更する（S105）。

【0188】

質問テーマに応じた一通りの質問と、この質問に対するユーザの回答が終了すると、制御手段10は、XSL（Extensible-Stylesheet-Language）及びCSS（カスケーディング・スタイルシート）のファイル105を参照し、質問・回答データベース102bに格納されたXML文書をページの形式に変換する（S10

7)。このページ形式データは、データベース102bに格納される。

【0189】

ユーザは、夢21サイト100のホームページからデータベース102bのページ形式データにアクセスして閲覧することができ、ユーザからのアクセスがあった場合、回答出力手段5は、ユーザに対し本人の回答を送信し閲覧させる（S108）。

【0190】

続いて、図8は、上述した質問の進行を示すフローチャートである。ユーザには、所定のタイミングで、質問テーマに対してユーザ自身が持つ感情を確認するための質問がなされる（S201）。この質問には、感情レベル別に幾つかの回答選択枝を用意し、その中から回答をユーザに選択させる（S202）。制御手段10は、ユーザが選択した回答に応じて、即ちテーマに対するユーザの感情に応じて以降の質問パターンを選択する。本実施例において、ユーザの感情レベルの確認は2段階に分けて行われる。1回目の感情レベルの確認において質問パターンを2種類のCSSファイル（XMLファイル）に分岐させ（S203、S204）、2回目の感情レベルの確認において、各質問パターンを更に2種類に分岐させる（S206、S207）。そして、各分岐のタイミングで選択されたCSSファイル（XMLファイル）に基づいてユーザに対する質問が行われる（S205、S208）。1種類の質問テーマについて一通りの質問が終了すると（S209）、本実施例では、更に同じ質問を2回繰り返し、ユーザには3回同じ質問に回答してもらうようになっている。なお、ユーザが示した回答は、1つのXMLファイルの回答を終了するごとに、或いは、フリー入力（空欄穴埋め型の回答）を行う質問に回答した後で、都度保存できるようになっている。

【0191】

続いて、図9は、ユーザの回答をユーザ本人又は本人以外の第三者に外部出力する場合の流れ図である。

【0192】

上述の質問及び回答を記録したXMLファイルは、ファイル管理の便宜上複数のファイルに分散され格納されている（符号301～303）。

## 【0193】

制御手段10は、質問テーマに対するユーザの回答が完了し外部出力可能な情報が揃った時点で、分散された複数のXMLファイルの情報を連結して一つのファイルに統合し、回答データベース304に格納する。また、ユーザは、同じ質問テーマに対する回答を繰り返し行うことができ、それぞれの回答を別のファイル名で保存することができる。回答データベース304には、同じ質問テーマに対する複数の回答が、保存された日付時刻に基づいて時系列順の通し番号を付与され、管理されるようになっている（S301）。制御手段10は、XSLファイル及びCSSファイルの格納されたデータベース305を参照し、回答データベース304に格納された情報をページ形式の情報に変換する（S302）。ユーザは、ページ形式に変換された回答データベース304の情報を閲覧し、自己の回答を確認できるようになっている（S303）。また、自分で行った回答を確認した後、更に再インタビュー画面に飛んで新たに質問テーマに対する回答を入力したり、既に入力済みの回答に対して修正を行うこともできるようになっている（S304）。また、時系列に整理された過去の自分の回答から自己の感情履歴をつかみ、回答データベース304の既存情報に対し補足情報を追加することも可能となっている（S305）。

## 【0194】

また、ユーザは、自己の回答を外部の第三者に公開する要求を行うことができ、この要求に対し、制御手段10は、ユーザからXMLファイルに記述されたタグ単位で情報公開の許否を受け付ける。かつ、情報の公開先別に情報公開を許可する部分の指定を受け付ける（S306）。また、制御手段10は、情報の公開先別にユーザから公開用パスワードを受け付ける。又は、指定された情報公開先別にパスワードを自動生成し、情報公開先と関連付けてユーザに提示する（S307）。更に、制御手段10は、ユーザから指定された情報公開先別に、情報公開が許可された情報のみを抽出し、閲覧用回答データベース306～308を編集し、各情報公開先別の閲覧用回答データベース毎に先程設定したパスワードをアクセス認証キーとして設定する。ユーザは、各情報公開先に、対応する閲覧用パスワードを連絡する（S308）。

【0195】

マスコミ、医療機関、親族等の各情報公開先のメンバーは、ユーザから連絡を受けたパスワードを入力して認証することにより、自己に閲覧が許された範囲の回答データベースの内容を閲覧できるようになっている。

【0196】

これにより、情報公開先別にユーザが公開を許可する範囲で当該ユーザの感情履歴を閲覧させることができ、ユーザ本人のプライバシーが保護されると共に、マスコミを介して自分史を世間に紹介したり、医療機関を介してメンタル面の適切なケアを受けられたり、親族によるケアに役立てたりという恩恵を受けることが出来る。

【0197】

続いて、図10は、第三者が回答データベースを閲覧する手順を示した流れ図である。

【0198】

回答データベース306～308の閲覧用パスワードを受信したマスコミの編集者や医療機関の医療関係者などは、夢21サイト100にアクセスし、回答データベース306～308の閲覧を要求する。制御手段10は、閲覧を要求した閲覧希望者の端末（出力先端末400）を介して閲覧用パスワードの入力を求める。制御手段10は、閲覧希望者から入力された閲覧パスワードにより閲覧希望者を認証し、回答データベース306～308の閲覧を許可する。

【0199】

また、制御手段10は、回答データベース306～308に格納されたユーザの自分史情報を予め形成されたカルテデータベース（医療用データベース）にインポートしてカルテと自分史の連結データベース401を生成する機能を備えている。また、制御手段10は、回答データベース306～308に格納されたユーザの自分史情報を予め形成された電子出版用データベースにインポートして自分史の編集本データを生成する機能を備えている。ここで、電子カルテデータや電子出版用データは、それぞれ医療機関のデータベースやマスコミのデータベース402に格納されており、そこからダウンロードして用いるようになっている。

【0200】

ユーザは、自分史情報が連結されたカルテデータを閲覧することができ、インフォームド Consent として活用することが可能になっている。

【0201】

【発明の効果】

本発明は、以上のように構成され機能するので、これによると、質問文生成手段が、質問文雛型の可変部に属性の一致する以前の回答を当て嵌めて質問文を完成しユーザに表示するので、質問を受けるユーザは実際に過去に呼ばれていた呼び名で呼びかけられることによりリラックスできたり、自分が過去に経験した具体的なシチュエーションを盛り込んだ質問文により過去のシチュエーションのイメージが容易になったりするので、過去の回想の促進が期待できる。

複雑に絡みあった個人の過去の事実とそれによる複雑な感情履歴を整理できることで、現在個人が抱えてしまっている心の問題を自分自身で解決することが期待できる。

【0202】

また、ユーザの回想による感情の変遷などをデータベース化し、第三者に利用可能とするので、医師・介護者等は患者の心のケアを行うにあたり、その患者の過去を整理された情報として容易に入手できるようになるので、従来よりも適切なりハビリテーションを容易に行うことができる。

【0203】

また、ユーザの回想による回答を XML ファイルにデータベース化した場合は、XML タグを指定することにより特定の属性を持つ回答の抽出が容易であり、また、事後的にカルテや自分史出版用のフォームに編集することを容易に行うことができる。

【0204】

また、回答出力制御手段が、ユーザが許可した回答だけを外部に公開する場合は、ユーザの意思が尊重され、またユーザのプライバシーが守られる。公開の可否を回答の属性単位で細かく設定する場合は、情報公開に対するユーザの意思を



精密に反映することができる。

【0205】

また、質問文生成手段が、ユーザの回答からユーザの感情レベルを判定し、該感情レベルに応じて以降の質問パターンを変更する場合は、ユーザの感情に沿った適切な質問を行うことができ、ユーザの感情に悪影響を与えないように回想を促進させることが可能である。

【0206】

また、マルチメディアリンク手段が、ユーザの回答に関する地図、写真、音楽などのデータを該ユーザの回答に関連付ける場合は、データベースを利用する医師等は、それらの情報をユーザの介護に活用することができ、患者の心のケアに有効に活用することが可能となる、という従来にない優れた回想データベースシステムを提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明にかかる回想データベースシステムを含む全体構成図である。

【図2】

ユーザ登録処理のフローチャート。

【図3】

サービス開始から終了までのフローチャート。

【図4】

自分史作成処理のフローチャート。

【図5】

レビュー処理のフローチャート。

【図6】

情報公開処理のフローチャート。

【図7】

本発明の詳細な実施例を示す質問回答段階の流れ図。

【図8】

本発明の詳細な実施例を示す質問文選択段階の流れ図。

【図 9】

本発明の詳細な実施例を示す情報公開段階の流れ図。

【図 1 0】

本発明の詳細な実施例を示す公開情報利用段階の流れ図。

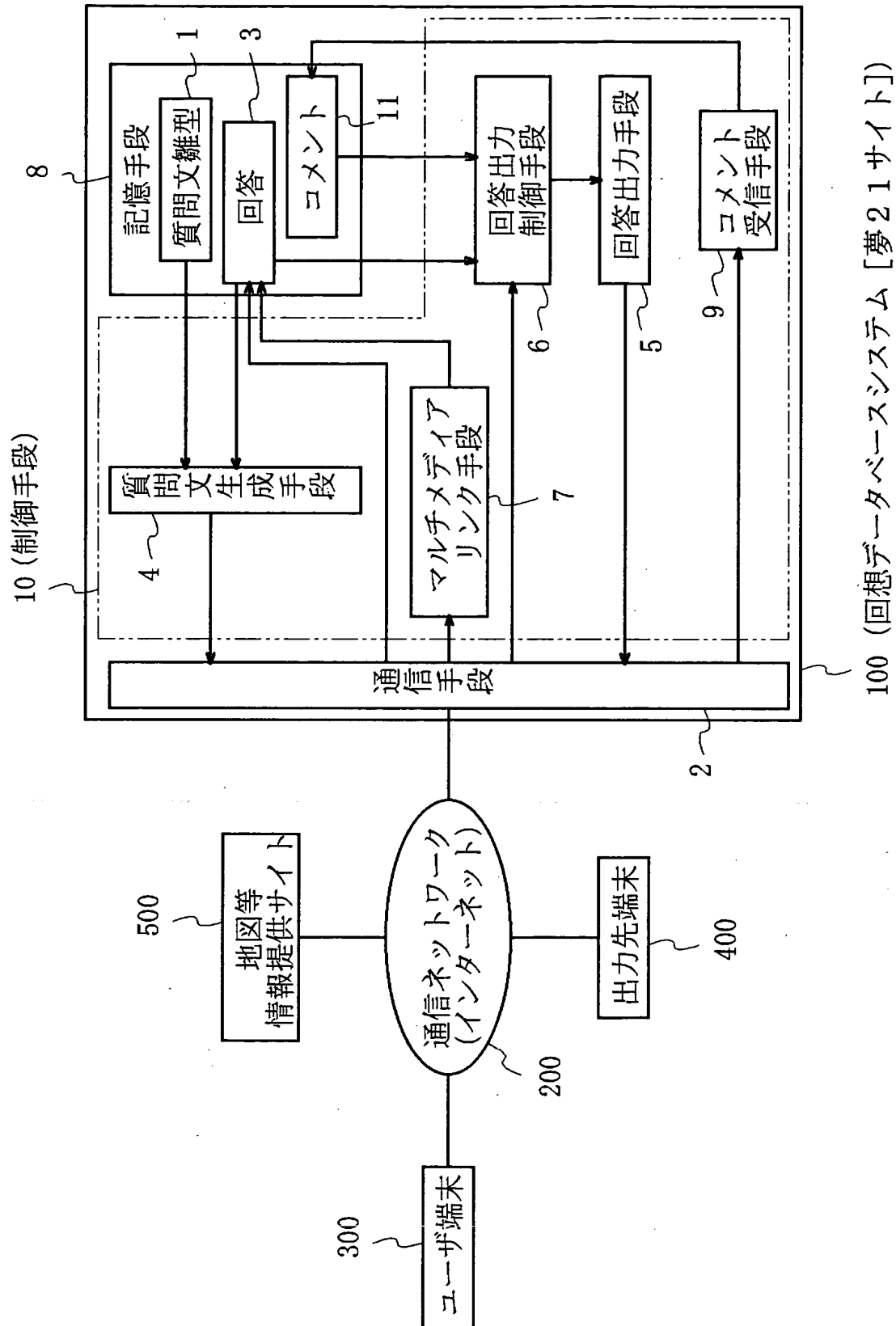
【符号の説明】

- 1 質問文雛型記憶手段
- 2 通信手段
- 3 回答記憶手段
- 4 質問文生成手段
- 5 回答出力手段
- 6 回答出力制御手段
- 7 マルチメディアリンク手段
- 8 記憶手段
- 1 0 制御手段
- 1 0 0 回想データベースシステム（夢 2 1 サイト）
- 2 0 0 通信ネットワーク（インターネット）
- 3 0 0 ユーザ端末
- 4 0 0 入出力先端末
- 5 0 0 地図等外部サイト

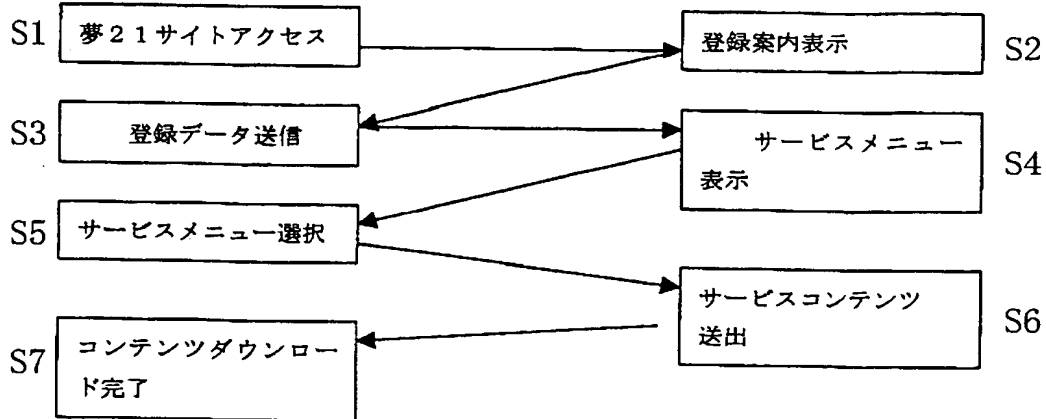
特 2 0 0 0 - 1 8 2 3 5 8

【書類名】 図面

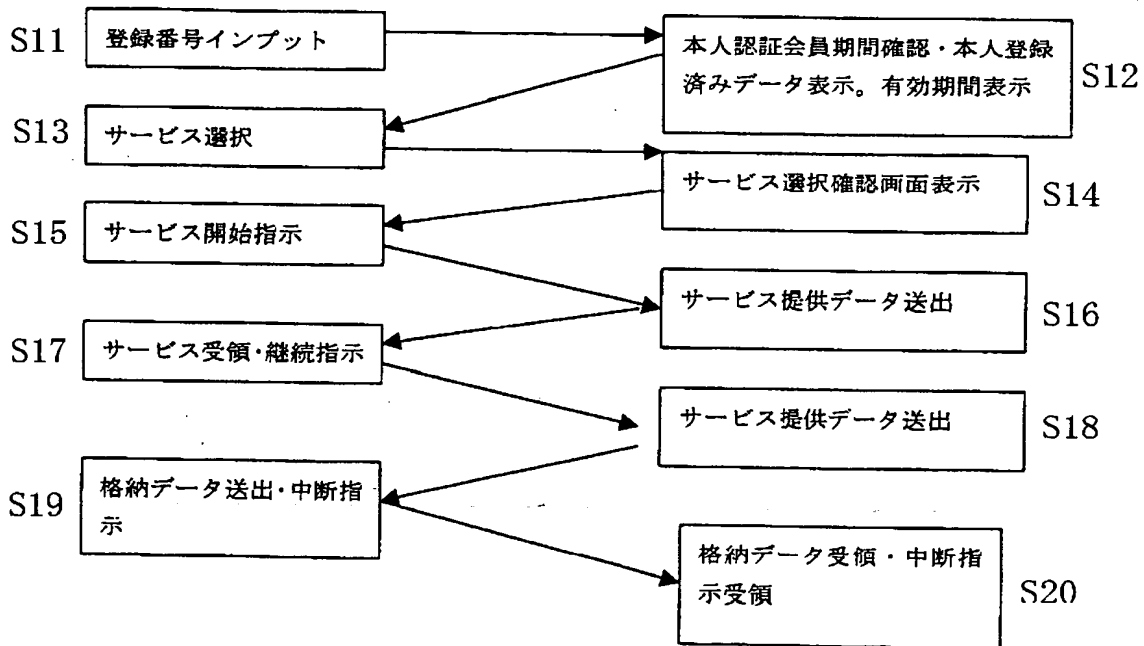
【図 1】



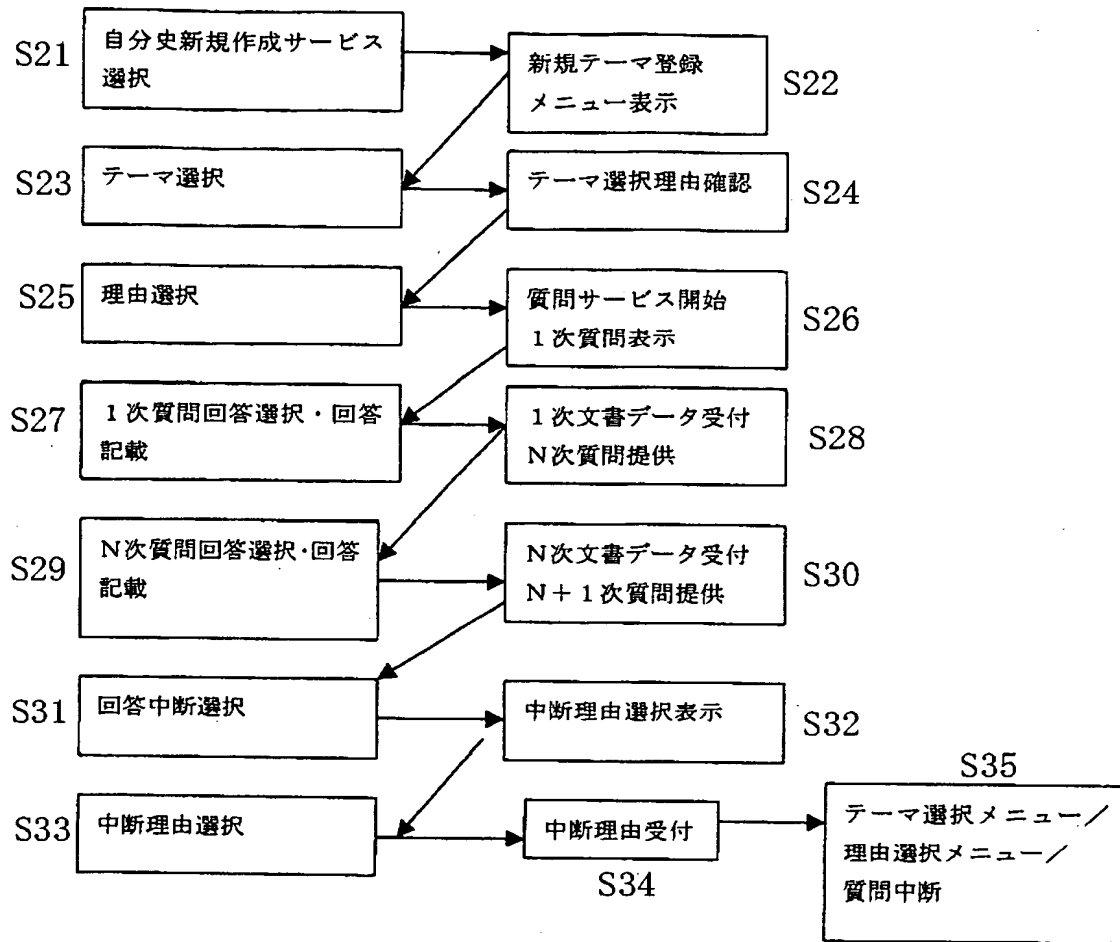
【図 2】



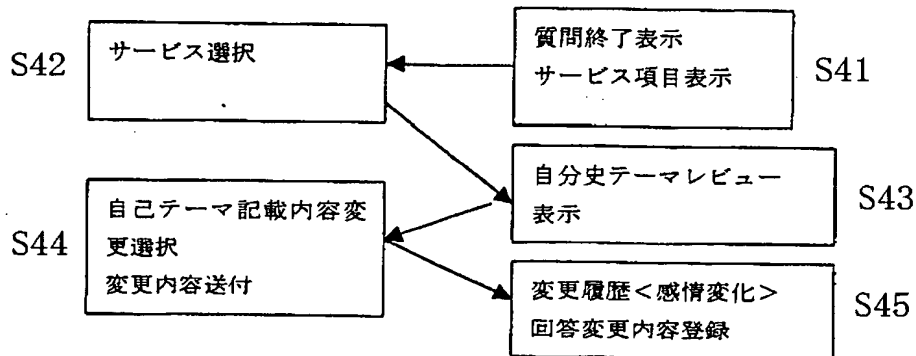
【図 3】



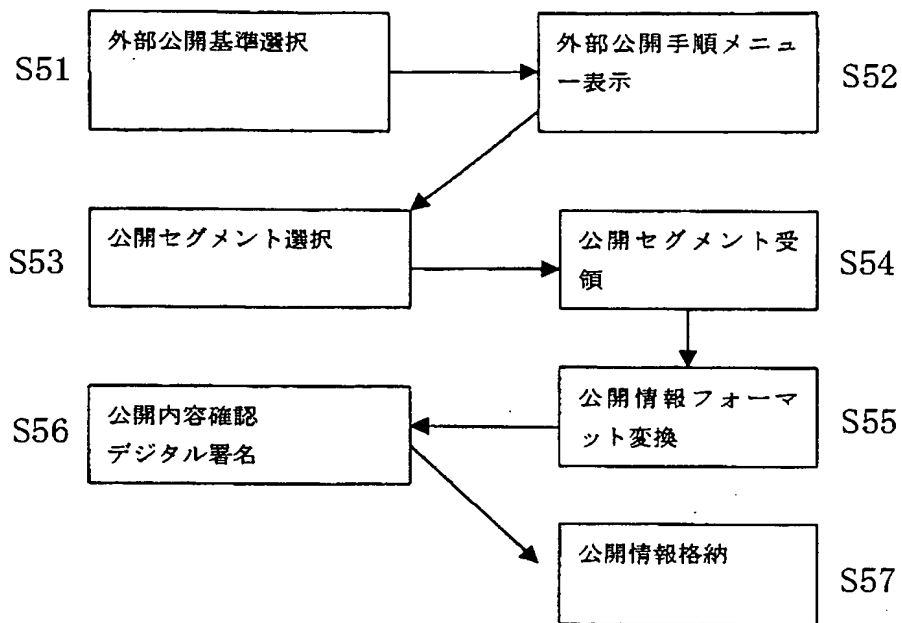
【図 4】



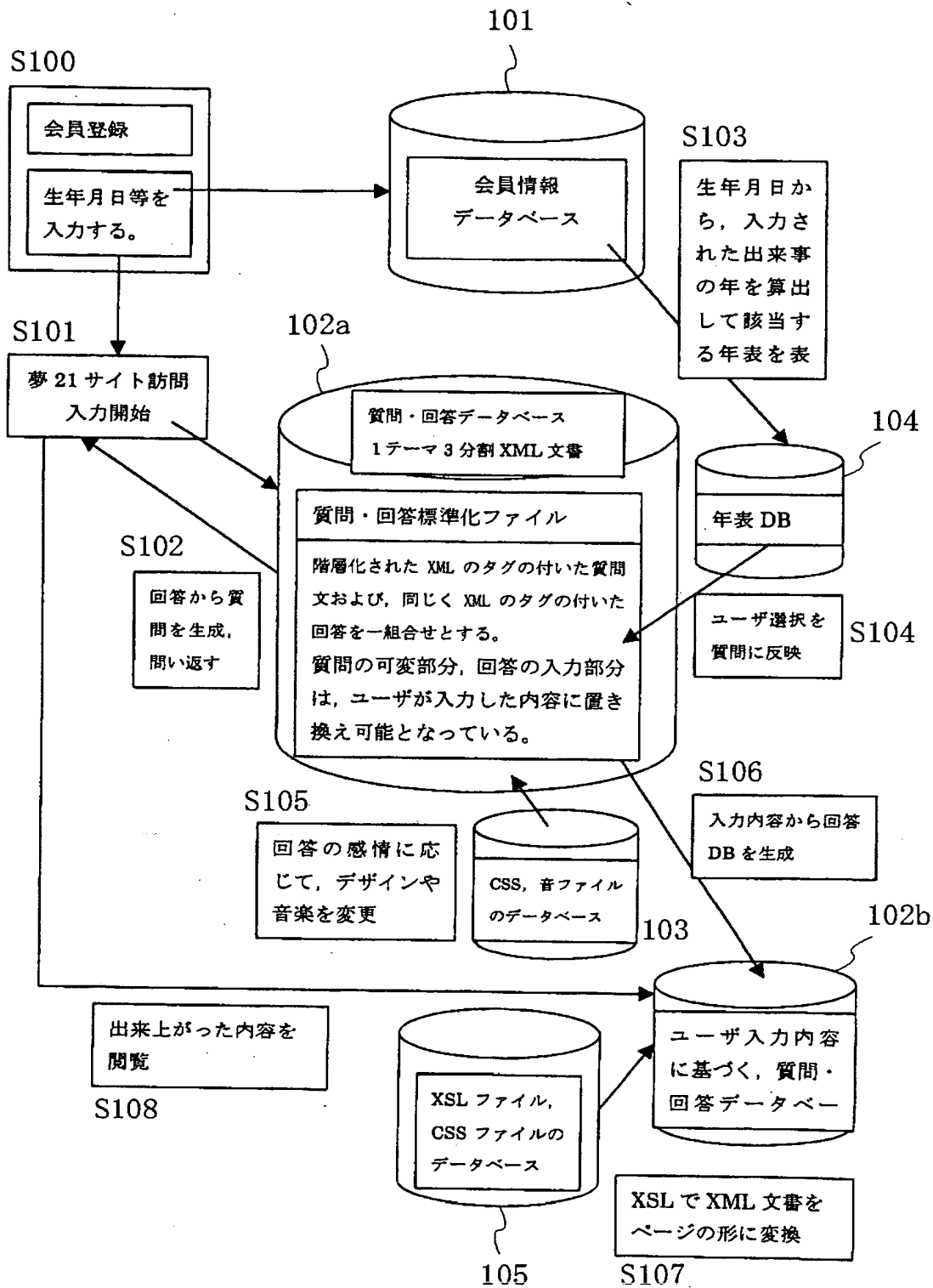
【図 5】



【図 6】

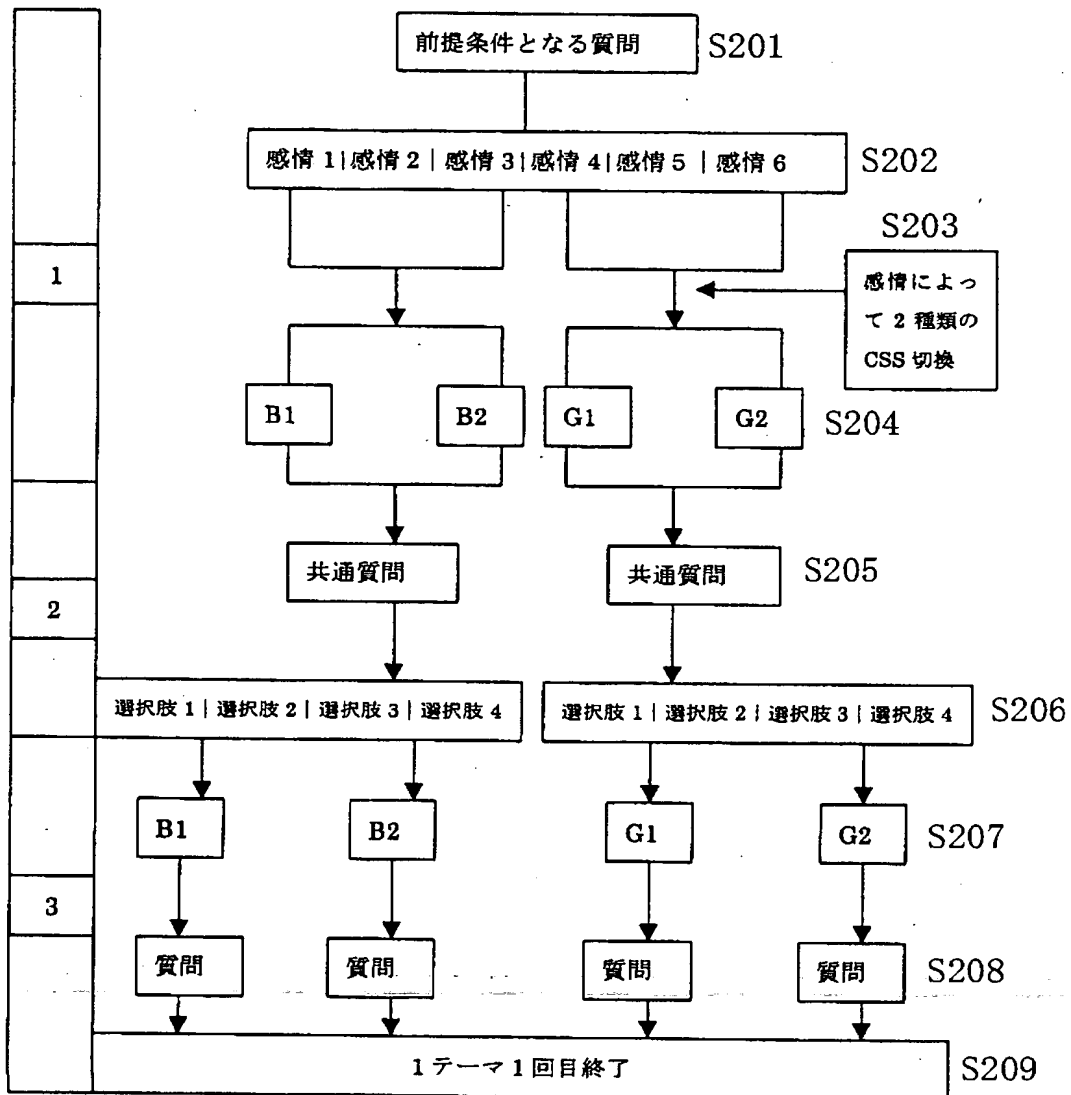


【図 7】

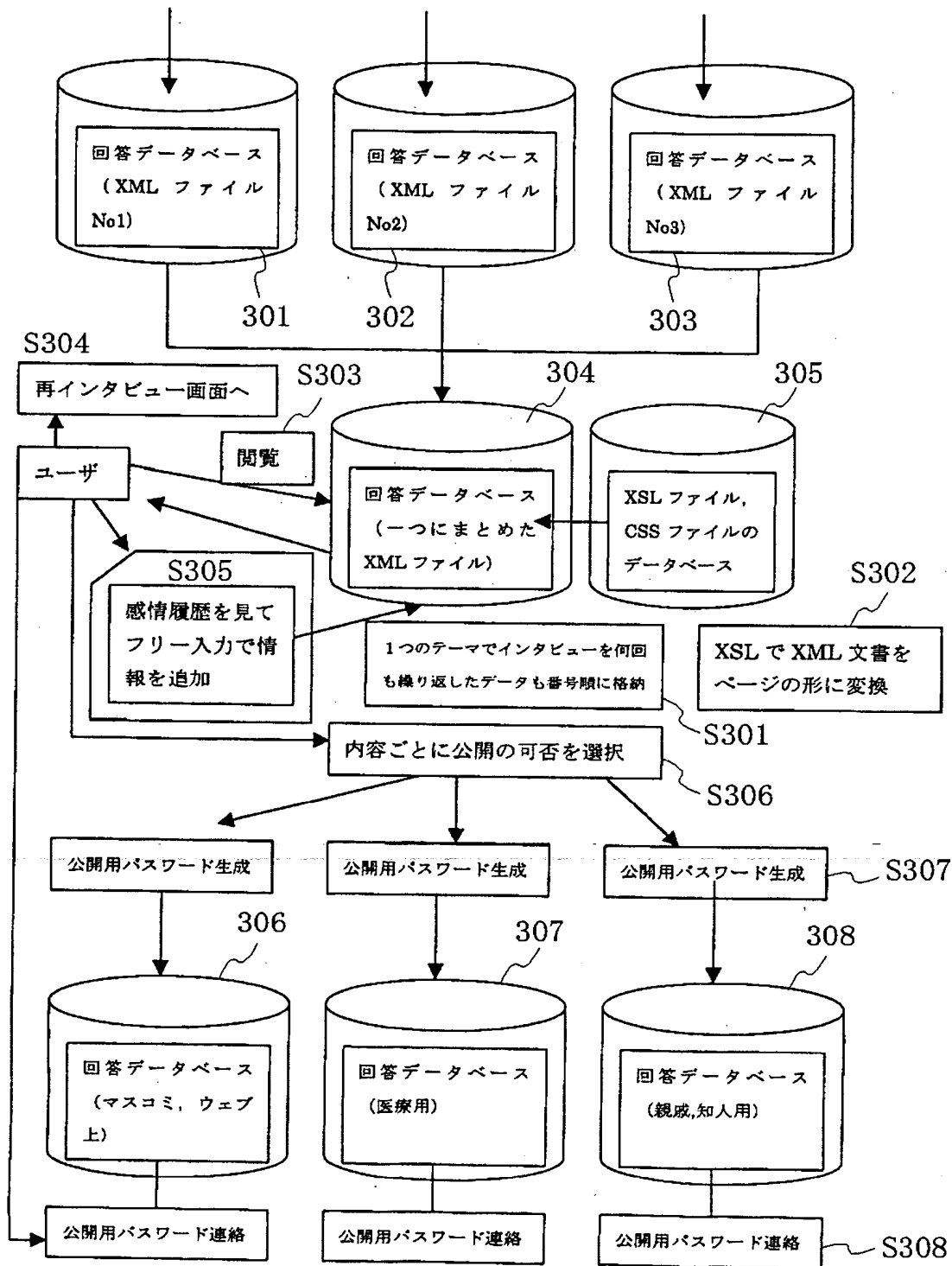




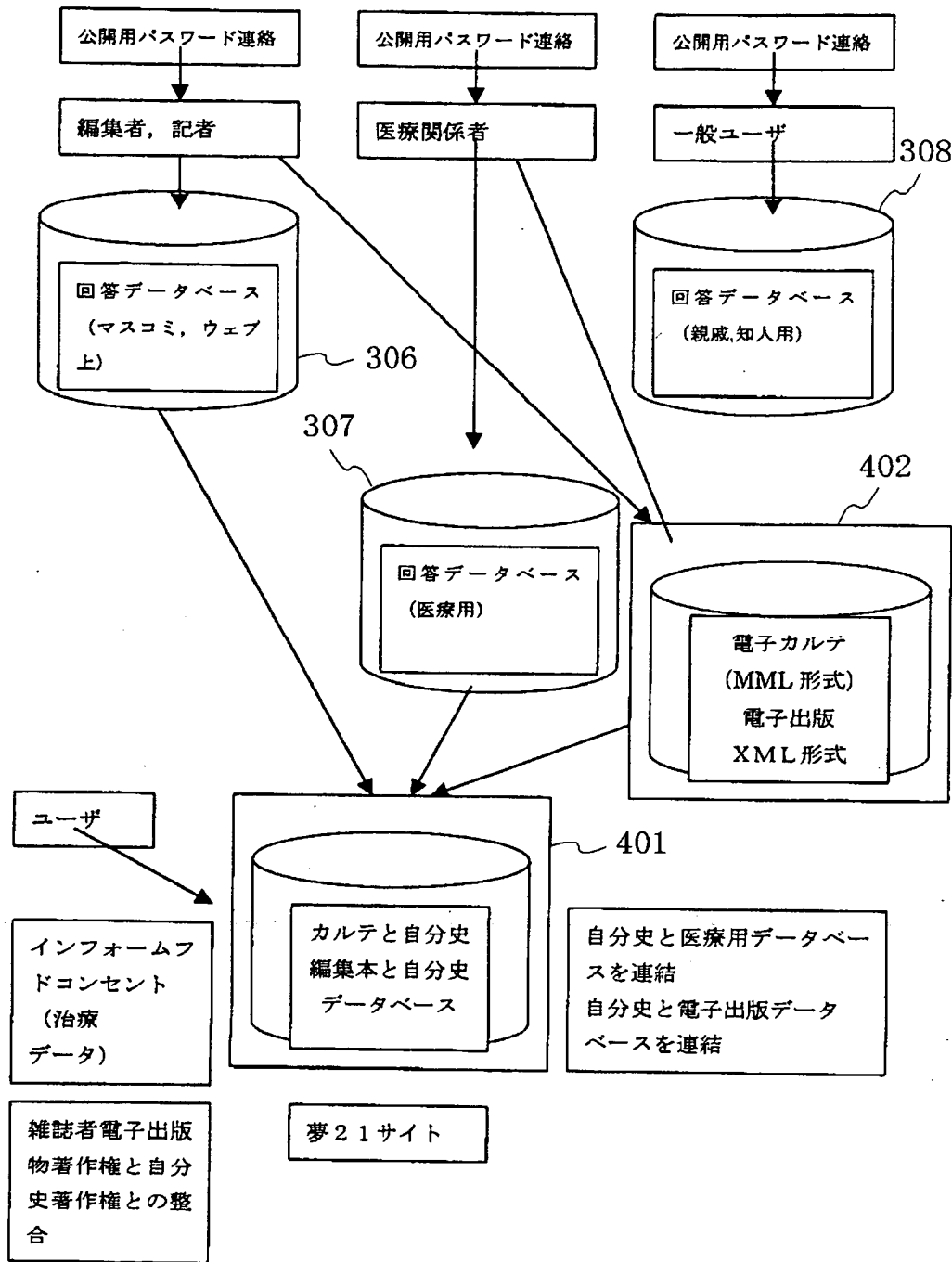
【図 8】



【図9】



【図10】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 個人の過去の心の変遷をデータベース化し、個人自身によるメンタルヘルス・痴呆予防等を行わせると共に、このデータベースを医師・介護者等が患者の治療に役立てることができるようにすること。

【解決手段】 ユーザの回想を促す質問文であって、属性を有する可変部を含んだ質問文雛型を予め記憶させた質問文雛型記憶手段 1 と、質問文をユーザに出力すると共に、該ユーザから質問文に対する回答を取得する通信手段 2 と、該質問文に対する回答を該回答の属性と共にデータベース化し記憶する回答記憶手段 3 と、質問文雛型記憶手段 1 から質問文雛型を読み出すと共に、該質問文雛型の可変部と属性が一致する回答を回答記憶手段 3 から読み出し、該読み出した回答を質問文雛型の属性が一致する可変部に当て嵌めて質問文を生成し、通信手段 2 に出力する質問文生成手段 4 と、回答記憶手段でデータベース化された回答を、指定された形式に変換し出力する回答出力手段 5 とを備えた。

【選択図】 図 1

特2000-182358

認定・付加情報

特許出願の番号	特願2000-182358
受付番号	50000756584
書類名	特許願
担当官	第七担当上席 0096
作成日	平成12年 6月22日

<認定情報・付加情報>

【提出日】 平成12年 6月19日

次頁無

【書類名】 出願人名義変更届  
【提出日】 平成12年 8月18日  
【あて先】 特許庁長官殿  
【事件の表示】  
    【出願番号】 特願2000-182358  
【承継人】  
    【識別番号】 500285613  
    【氏名又は名称】 合資会社エイジナビ  
【譲渡人】  
    【識別番号】 500285521  
    【氏名又は名称】 薬師寺 聖子  
【承継人代理人】  
    【識別番号】 100110652  
    【弁理士】  
    【氏名又は名称】 塩野谷 英城  
【手数料の表示】  
    【予納台帳番号】 069454  
    【納付金額】 4,200円  
【プルーフの要否】 要

認定・付加情報

特許出願の番号	特願 2000-182358
受付番号	50001050390
書類名	出願人名義変更届
担当官	塩崎 博子 1606
作成日	平成12年10月 5日

<認定情報・付加情報>

【承継人】

【識別番号】	500285613
【住所又は居所】	広島県高田郡甲田町大字上小原989番地
【氏名又は名称】	合資会社エイジナビ
【承継人代理人】	申請人
【識別番号】	100110652
【住所又は居所】	東京都板橋区板橋1丁目9番11-201号 塩 野谷国際特許事務所
【氏名又は名称】	塩野谷 英城

【譲渡人】

【識別番号】	500285521
【住所又は居所】	愛媛県北宇和郡広見町大字国遠1363
【氏名又は名称】	薬師寺 聖子

【書類名】 出願人名義変更届  
【提出日】 平成12年 8月18日  
【あて先】 特許庁長官殿  
【事件の表示】  
    【出願番号】 特願2000-182358  
【承継人】  
    【識別番号】 500285613  
    【氏名又は名称】 合資会社エイジナビ  
【譲渡人】  
    【識別番号】 500285510  
    【氏名又は名称】 薬師寺 国安  
【譲渡人代理人】  
    【識別番号】 100110652  
    【弁理士】  
    【氏名又は名称】 塩野谷 英城  
【手数料の表示】  
    【予納台帳番号】 069454  
    【納付金額】 4,200円  
【プルーフの要否】 要



出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [500285613]

1. 変更年月日 2000年 6月19日  
[変更理由] 新規登録  
住 所 広島県高田郡甲田町大字上小原989番地  
氏 名 合資会社エイジナビ
2. 変更年月日 2000年 8月18日  
[変更理由] 住所変更  
住 所 広島県高田郡甲田町大字上小原989番地  
氏 名 合資会社エイジナビ

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [500285510]

1. 変更年月日	2000年 6月19日
[変更理由]	新規登録
住 所	愛媛県北宇和郡広見町大字国遠1363
氏 名	薬師寺 国安

出 願 人 履 歷 情 報

識別番号 [500285521]

1. 変更年月日 2000年 6月19日

[変更理由] 新規登録

住 所 愛媛県北宇和郡広見町大字国遠1363

氏 名 薬師寺 聖子